

第2回

平成 27 年度

解 答 と 解 説

《平成27年度の配点は解答用紙に掲載してあります。》

＜算数解答＞ 《学校からの正答の発表はありません。》

- [1] (1) 32個 (2) [2]を[6]に (3) 8通り
 [2] (1) 24度 (2) 339.12cm² (3) 31.4cm³
 [3] ① 8 ② 5 ③ 5 ④ 1.6
 [4] (1) 4:3 (2) 123cm² (3) $17\frac{1}{12}$ cm²
 [5] (1) 毎分35L (2) 480L (3) 毎分43L

＜算数解説＞

[1] (分配算, 割合と比, 和差算, 消去算, 数の性質, 規則性)

重要

(1) リンゴとミカンが63(分母の最小公倍数)ずつあるとする。
 リンゴ…A $63 \div 7 \times 3 = 27$ B $(63 - 27) \div 3 \times 2 = 24$ C $63 - (27 + 24) = 12$
 ミカン…A $63 \div 9 \times 5 = 35$ B $(63 - 35 + 8) \div 2 = 14 + 4$ C $14 - 4$
 Cについて, $14 - 12 = 2$ が4個に等しいので, Bのミカンは $4 \times 7 + 4 = 32$ (個)である。

基本

(2) $35 - 31 - \frac{70}{49} = \frac{18}{7}$ であり, $81 \times 2 \div \square 3 = \frac{18}{7} = \frac{162}{63}$ であるから, 2を6に変える。

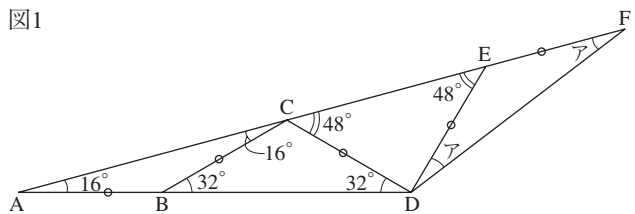
やや難

(3) $1 \div 0.08 = 12.5$ $2 \div 0.08 = 25$ $3 \div 0.08 = 37.5$ $4 \div 0.08 = 50 \dots$ より, 113×1.08 の整数部分 $122 - 1 = 121$ (円)がなく, $125 \times 1.08 - 1 = 134$ (円)がなく, …と続いていく。したがって, 税別の売価113円, 125円, 138円, 150円, 163円, …, 200円の商品のそれぞれについて税込み価格より1円少ない税込み価格がないので, これらは, $2 \times \{(200 - 125) \div 25 + 1\} = 8$ (通り)ある。

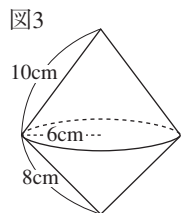
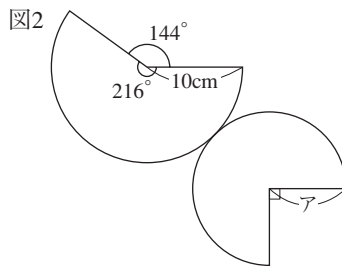
重要

[2] (平面図形, 立体図形, 図形や点の移動)

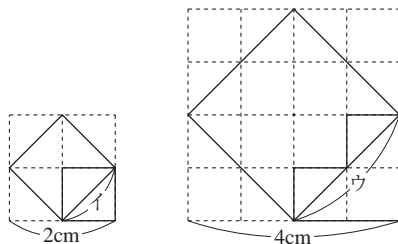
(1) 図1において, 二等辺三角形 CBDの角CBDは32度であり, 二等辺三角形BCAの角CABが $32 \div 2 = 16$ (度)であるから, 二等辺三角形DECの角ECDは $16 + 32 = 48$ (度)である。したがって, 二等辺三角形EDFについて $ア \times 2 = 48$ (度)であり, アは $48 \div 2 = 24$ (度)



(2) 図2の展開図を組み立てると, 図3の立体ができる。円Oの半径は $10 \div 360 \times (360 - 144) = 6$ (cm)であり, 母線アの長さは $6 \div 3 \times 4 = 8$ (cm)である。したがって, 表面積は $6 \times (10 + 8) \times 3.14 = 339.12$ (cm²)である。

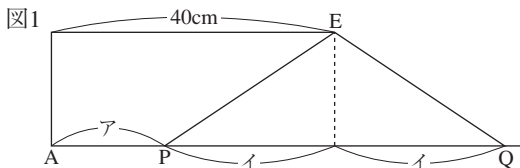


- (3) 右図より、立体Bの上段の円柱の半径イ×イは $2 \times 2 = 2(\text{cm}^2)$ 、下段の円柱の半径ウ×ウは $4 \times 4 \div 2 = 8(\text{cm}^2)$ であり、体積は $(2+8) \times 3.14 \times 1 = 31.4(\text{cm}^3)$

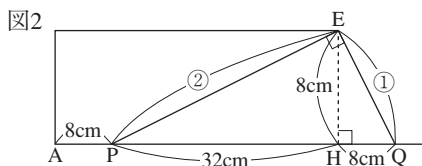


重要 [3] (図形や点の移動, 平面図形, 相似, 速さの三公式と比, 平均算, 消去算)

- (1) 図1において、Pが進んだ距離アとQが進んだ距離ア+イ×2-16の和は $(ア+イ) \times 2 - 16$ であり、ア+イは40であるから、 $40 \times 2 - 16 = 64(\text{cm})$ である。したがって、P, Qの秒速の和が $4 \times 2 = 8(\text{cm})$ のとき、 $① 64 \div 8 = 8$ (秒後)に二等辺三角形EPQができる。ただし、Pが8秒後にEの真下を通過する。②秒速 $40 \div 8 = 5(\text{cm})$ のときは、二等辺三角形ができない。

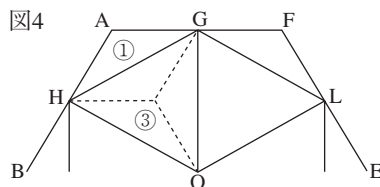
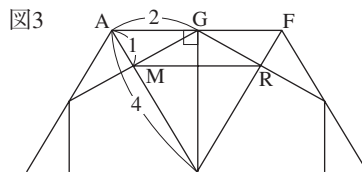


- (2) 図2において、直角三角形PEQ, PHE, EHQは相似であり、PHは $16 \times 2 = 32(\text{cm})$ 、HQは $16 \div 2 = 8(\text{cm})$ である。したがって、PとQが進んだ距離の和は $40 - 32 + 40 + 8 - 16 = 40(\text{cm})$ であり、この時刻③は $40 \div 8 = 5$ (秒後)、Pの秒速④は $8 \div 5 = 1.6(\text{cm})$ である。

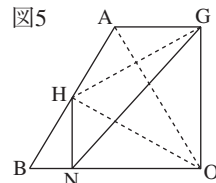


重要 [4] (平面図形, 相似)

- (1) 図3において、直角三角形AMGとAGOは60度を含む相似であり、AMの長さが1のとき、GAが $1 \times 2 = 2$ 、OAが $2 \times 2 = 4$ である。したがって、相似な正三角形MORとAOFにおいてAF:MRはAO:MOに等しく、 $4 : (4 - 1) = 4 : 3$ である。
- (2) 図4より、二等辺三角形AHGの面積が①のとき、正三角形GHOの面積は③であり、正六角形ABCDEFとGHIJKLの面積比は $(1+3) : 3 = 4 : 3$ である。したがって、正六角形GHIJKLの面積は $164 \div 4 \times 3 = 123(\text{cm}^2)$ である。



- (3) 図5において、(2)より、二等辺三角形AHGの面積は(2)より、 $164 \div (6 \times 4) = \frac{41}{6}(\text{cm}^2)$ であり、三角形HNGの面積は三角形HNOの面積に等しいので、 $123 \div (6 \times 2) = \frac{41}{4}(\text{cm}^2)$ である。したがって、四角形AGNHの面積は $41 \times \left(\frac{1}{6} + \frac{1}{4} \right) = \frac{205}{12}(\text{cm}^2)$ である。



やや難 [5] (立体図形, 仕事算, 消去算, 単位の換算)

- (1) Aの毎分の排水量を□Lにすると、A, Bの残りの容積について $\square \times 8 - 20 \times 8 = \square \times 8 - 160$ と $\square \times 13 - \frac{1}{3} - 26 \times 13 - \frac{1}{3} = \square \times \frac{40}{3} - \frac{1040}{3}$ が等しいので、□は、 $\left(\frac{1040}{3} - 160 \right) \div \left(\frac{40}{3} - 8 \right) = \frac{560}{3} \div \frac{16}{3} = 35(\text{L})$ である。

- (2) (1)より、初めに入っていた水量は $(35-20) \times (8+16) = 360$ (L)であり、残りの容積は $(35-20) \times 8 = 120$ (L)であるから、A、Bの容積は $360+120=480$ (L)である。
- (3) (1)・(2)より、40分後、Bから水があふれておりA・Bの水量の差は $480 - \{360 - (35-30) \times 40\} = 320$ (L)であり、20分後にAの水量が $320 \div 2 = 160$ (L)増え、Bの水量が同量だけ減ると、A・Bの水量が等しくなる。したがって、出力を $35+160 \div 20 = 43$ (L)に上げたことになる。



★ワンポイントアドバイス★

[1](3)、2に注意する。[2](3)は、「半径」の長さは求められないが「半径×半径」の面積は求められ、よく出題される問題である。[4]の「正六角形」の問題は、着実に得点したい。また、[3]・[5]も、難問ではない。

<理科解答> (学校からの正答の発表はありません。)

- [1] 問1 7枚 問2 エ, オ 問3 ウ 問4 水が空気と触れる面積が大きく酸素を取りこみやすい 問5 イ, エ
- [2] 問1 エ 問2 カ 問3 10時16分53秒 問4 10時17分15秒 問5 16秒後
問6 A, B
- [3] 問1 イ, ウ, エ 問2 24度 問3 イ 問4 B 33.6cm C 28cm
問5 ア, ウ
- [4] 問1 イ 問2 $\frac{3}{8}$ 倍 問3 4.0g 問4 ウ 問5 エ 問6 2.60g, 300cm³

<理科解説>

[1] (動物—メダカの生態)

問1 メダカのひれは、背びれ、尾びれ、しりびれが1枚ずつと、胸びれ、腹びれが2枚ずつの、計5種類7枚である。

問2・問3 メダカのオスは、せびれに切れ込みがあり、しりびれが後ろまで広く平行四辺形に近い形をしている。一方、メスは、せびれに切れ込みがなく、しりびれは後ろが細い三角形に近い形をしている。このような形は、産卵と受精のときにオスがメスを引きよせるのに都合のよい形である。メダカの受精と産卵は、早朝におこなわれるが、メスとオスが寄り添って泳ぎ、メスが腹びれと尻びれの間に卵を押し出すように産んで、すぐにオスが水中に精子を出して受精させる。卵には付着毛がついており、しばらくすると水草に産み付けられる。

問4 ベットボトルにせよ、水槽にせよ、水面の面積が広い方が好ましい。それは、水面が広い方が、水と空気が触れ合う面積が広く、酸素が水中に溶けやすくなるためである。

やや難

問5 アは両方の影響を受けるため、どちらの影響で産卵したのか判明しない。また、ウは両方の影響を受けないので産卵は少ないと考えられる。これら2つの実験はあまり意味がない。残るイとエの実験を行い比較したとき、エの産卵数が多ければ仮説1の影響が大きいといえるし、イの産卵数が多ければ仮説2の影響が大きいといえる。

〔2〕(大地の活動—地震波の伝わりかた)

問1 地震波は震源で発生し、周囲へ同心円状に広がっていく。本問でAとBが同時に揺れ始めたということは、「震源からAまでの距離」と「震源からBまでの距離」が等しいということである。このことから、震源は、問題の図のア、ウ、カ、ケの直線上にある。

問2 6地点のうち、震源に最も近いのは地点A、Bであり、次いでC、Eの順である。震源から遠いDとFは同時に揺れ始めたので、震源からは等距離である。以上から、震源はカである。

重要

問3 震源のカから距離が測りやすいC地点を考える。カからCまでは2目盛りで80kmである。地震波が速さ8km/sで伝わってくるのにかかる時間は $80 \div 8$ で10秒間である。つまり、震源で地震が発生したのは、C地点が揺れ始めた10秒前の10時16分53秒である。

問4 震源のカからG地点までの距離は、震源のカからE地点までの距離の2倍である。E地点が揺れ始めたのは、震源で地震が発生した10時16分53秒の11秒後である。だから、G地点が揺れ始めたのは、震源で地震が発生した22秒後である10時17分15秒となる。

問5 大きな揺れの速さ4km/秒は、揺れ始めの波の速さ8km/秒の半分だから、到着するまでの時間は2倍である。F地点が揺れ始めたのは、震源カで地震が発生した10時16分53秒の16秒後である。だから、大きな揺れがおこるのは、地震発生32秒後である10時17分25秒となる。各地点での最初の揺れはじめて、大きな揺れの始まりをまとめると、次のようになる。

地点	最初の揺れ始め (地震発生から)	大きな揺れ (地震発生から)
A	10時17分00秒 (7秒)	10時17分07秒 (14秒)
B	10時17分00秒 (7秒)	10時17分07秒 (14秒)
C	10時17分03秒 (10秒)	10時17分13秒 (20秒)
D	10時17分09秒 (16秒)	10時17分25秒 (32秒)
E	10時17分04秒 (11秒)	10時17分15秒 (22秒)
F	10時17分09秒 (16秒)	10時17分25秒 (32秒)
G	10時17分15秒 (22秒)	10時17分37秒 (44秒)

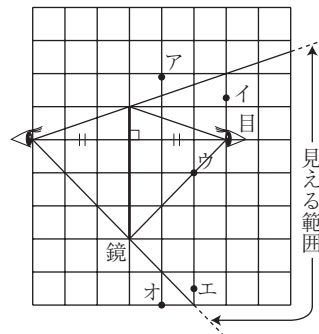
問6 緊急地震速報は、揺れ始めの小さい波(P波)を観測し、その情報をもとに、大きな揺れを起こす波(S波)の到着前に警報を出すしくみである。本問では、C地点が揺れ始めた5秒後の10時17分08秒に緊急地震速報が出された。C地点に大きな揺れが来るのは、地震発生20秒後の10時17分13秒だから、緊急地震速報はC地点やそのあとに揺れが来るD、E、F、G地点では、大きな揺れより先行できている。一方、A地点やB地点は、震源カで地震が発生した7秒後に揺れ始め、14秒後の10時17分07秒に大きな揺れが到着するから、緊急地震速報が出たときには、すでに大きい揺れが始まっていた。

〔3〕(光の性質—鏡の反射)

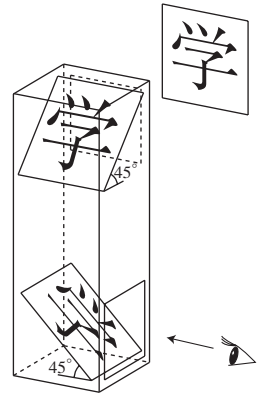
基本

問1 問題の図1にあるように、物体または目を鏡に対称な位置に移動させれば考えやすい。問題の図2では、ア～オの5個の物体を全部移動させるのは大変なので、目の位置を動かす方がよい。右図のように、目を反対側に移して、鏡の端と結ぶと、鏡に反射して見える範囲が分かる。アとオは見える範囲から外れており、イ、ウ、エは範囲に入っている。

問2 鏡を 12° 回すと、入射角が 12° 変わり、反射角も 12° 変わり、反射光の向きは合計 24° 変化する。これは、本問の 30° とは無関係に、回転角だけで決まる。

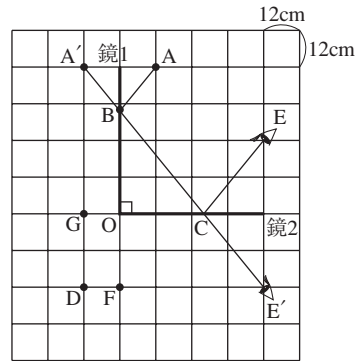


問3 右図のように、「学」の文字の上側(ツ)は、四角い箱の右奥を通って、目から見ると右側にくる。下側(子)は、四角い箱の左手前を通って、目から見ると左側にくる。

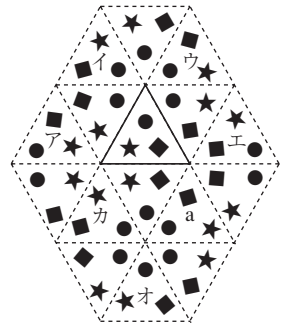


やや難

問4 鏡が2枚あるので、右図のように、物体のある点Aを鏡1に対称な位置A'に、目の位置をEとして鏡2に対称な位置E'に移す。すると、光の道筋はA'からE'まで直線で描けて、その直線の上に、B点とC点がかかる。右図には、他に説明のために、D, F, Gの各点が取ってある。三角形E'FBは、三角形E'DA'を5分の4に縮小したものである。DA'の長さは6目盛りなので72cmである。対応するFBの長さは、72cmの5分の4で57.6cmである。よって、BOの長さは57.6-24=33.6(cm)である。三角形A'GCは、三角形A'DE'を6分の4に縮小したものである。DE'の長さは5目盛りなので60cmである。対応するGCの長さは、60cmの6分の4で40cmである。よって、COの長さは40-12=28(cm)である。



問5 図7で、鏡で次々に反射した像を描いていくと、右図のようになる。これにより、aと同じ向きの像になるのは、アとウである。



[4] (気体の性質—銅と酸素の反応)

問1 マグネシウムを空气中で加熱すると、白く明るい光を放って燃焼し、あとに白い酸化マグネシウムが残る。また、銅を空气中で加熱すると、赤くなって燃焼し、あとに黒い酸化銅が残る。

やや難

問2 実験Iで重さが増えるのは、空气中的酸素と結びついたため、酸素の重さが増えたからである。問題の表1から、加熱前の銅と加熱後の酸化銅の重さの比は、銅：酸化銅=4：5である。だから、銅と結びついた酸素の重さの比は、銅：酸素=4：1である。同じように、マグネシウムについても考えると、マグネシウム：酸化マグネシウム=3：5であり、マグネシウム：酸素=3：2である。以上から、1gの酸素と結びつく銅は4gであり、1gの酸素と結びつくマグネシウムは1.5gである。正解は、 $1.5 \div 4 = \frac{3}{8}$ (倍)である。

問3 銅0.8gが酸化すると、銅：酸化銅=4：5=0.8：□で、□=1.0gの酸化銅ができる。同じよう、マグネシウム1.8gが酸化すると、マグネシウム：酸化マグネシウム=3：5=1.8：△で、△=3.0gの酸化マグネシウムができる。加熱後の重さは、合計で1.0+3.0=4.0(g)である。

やや難

問4 実験IIでは、酸化銅の中の酸素が炭素に奪われ、酸化銅は銅になり、炭素は二酸化炭素にな

る。発生する気体は二酸化炭素である。二酸化炭素は水に少し溶けるため、問題の図2のように気体だめの下の方から入れて、かわりに上の方から空気が同じ体積だけメスシリンダーに送られる。メスシリンダーに集まるのは、二酸化炭素ではなく空気だが、空気の体積はまぎれもなく発生した二酸化炭素の炭素と同じであり、正確に気体の発生量を測ることができる。図3のように、気体だめの下の方からメスシリンダーに送ってしまうと、二酸化炭素は空気よりも重いため、メスシリンダーには二酸化炭素が送り込まれてしまい、一部が水に溶けて減ってしまう。また、図4のように、二酸化炭素を直接送ると、やはり一部が水に溶けて減ってしまう。

問5 発生する気体はそれぞれ、アは二酸化硫黄、イは酸素、ウは水素、エは二酸化炭素である。

重要 問6 問題の表2では、③が過不足なく反応しており、その比は次の通りである。

酸化銅：炭素：銅：二酸化炭素＝4.0g：0.30g：3.20g：600cm³

次に、酸化銅を3.0gと炭素を0.15g混ぜた場合、酸化銅が余り、炭素が不足する。だから、反応は炭素の重さ0.15gによって決まる。上の比は次のようになる。

酸化銅：炭素：銅：二酸化炭素＝2.0g：0.15g：1.60g：300cm³

3.0gの酸化銅のうち2.0gが反応するから、1.0gが余っている。これと、できた銅1.60gの合計2.60gが、加熱後の試験管に残る。また、発生する気体は300cm³である。



★ワンポイントアドバイス★

基本事項は、ことばで理解するだけでなく、簡潔に図示する力を養い、図を使って問題を解くことに慣れよう。

<社会解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

- [1] 問1 (国連)教育科学文化(機関) 問2 カルデラ 問3 糸魚川
問4 (1) 雲仙(普賢)岳 (2) イ (3) 火砕流 問5 ア
- [2] 問1 ウ 問2 (記号) ウ (正しい答え) 65 問3 ア 問4 (1) イ
(2) エ 問5 B イ D キ
- [3] 問1 ウ 問2 A 真言宗 B 天台宗 問3 (1) 熊野古道[熊野街道]
(2) イ 問4 カ→エ→ア 問5 譜代大名 問6 エ 問7 イ
問8 桜田門外の変 問9 (人物) イ (部門) ク 問10 3年間
問11 (書物) 風土記 (国) エ 問12 (1) ウ (2) エ
- [4] 問1 支倉常長 問2 ア 問3 (1) イ (2) (例) 多くの島が津波を弱めたから。
問4 (1) 国土交通省 (2) 特別警報 問5 (1) 1923年の関東大震災
(2) 災害救助法 問6 エ 問7 ア・キ

<社会解説>

- [1] (日本の地理—国土と自然など)

重要 問1 教育、科学、文化活動を通じて恒久的な平和構築を目的とする国連の専門機関。

基本 問2 火口が陥没した地形で阿蘇のカルデラは周囲80kmにも及び世界最大クラスといわれる。

問3 ヒスイがとれる姫川の川筋は糸魚川・静岡構造線と呼ばれる断層帯となっている。

問4 (1) 雲仙普賢岳を中心とした火山群の総称を雲仙岳と呼ぶ。(2) 眉山が崩壊して大量の土砂が有明海に流入、発生した津波により対岸の熊本で5千人以上が死亡。(3) 高温の火山噴出物が猛スピードで斜面を流れ下る現象。

問5 海水面の変化により海岸沿いに階段状の地形が発達した地形。

[2] (地理—国土と自然・人口・世界地理など)

問1 2025年には80億人を突破し2050年には100億人に迫るといわれる。

問2 一般的に65歳以上を高齢人口とし、この割合が10%以上を高齢社会と呼ぶ。

問3 コンパクトシティとは中心部に行政や商業、住宅などの都市機能が集中。

問4 (1) 豪雪地帯でもある青森市では除雪費用が年間予算の3%にも達し財政を圧迫。(2) 路面電車(ライトレール)のすべての駅には駐輪場が完備。

問5 沖縄県は高齢人口の割合が唯一20%以下の都道府県。土地が狭いこともあり第2次産業の割合が最も低く、第3次産業は東京都に次いで高い。Aは出生率、Cは老年人口の割合、Eは第2次産業比率、Fは第1次産業比率。人口密度は東京都・大阪府・神奈川県、在留外国人数は東京都・大阪府・愛知県の順。

[3] (日本の歴史—古代～現代の政治・文化・外交など)

やや難

問1 鳥羽天皇(在位1107～1123年)は退位後、3天皇28年間にわたり院政を実施。

重要

問2 とともに遣唐使の一員として入唐、最澄は比叡山、空海は高野山を拠点に布教活動に努めた。

問3 (1) 鎌倉以降は一般庶民に広まり「蟻の熊野詣」とまで言われた。(2) 鎌倉幕府を倒して建武の新政を実施した後醍醐天皇。アは織田信長、ウは足利義政、エは順徳天皇。

問4 坂上田村麻呂は平安遷都を行った桓武天皇の命で東北の蝦夷を平定。

問5 領土は小さいものの重要地点に配置され幕府の要職を務めた。

問6 今川義元は足利一門の有力な大名だが桶狭間で信長の奇襲を受け戦死。アは1573年、イは1551年、ウは1587年。

問7 スペイン船の来航禁止(1624年)は家光将軍就任の翌年。アは秀忠、ウは家綱、エは綱吉。

問8 攘夷派を弾圧した大老・井伊直弼が水戸の浪士たちに暗殺された事件。

問9 「くりこみ理論」など素粒子の研究により湯川秀樹に次ぎ2人目のノーベル賞受賞者。

問10 主に東国の兵士を配備、3年の任期は守られないことも多かったという。

問11 産物や地名の由来、伝説などの記述が要求され、完本である出雲風土記を含め5風土記が現存している。常陸は茨城県の大部分を占める旧国名。

問12 (1) 富嶽三十六景の「凱風快晴(通称・赤富士)」。 (2) 「古事記伝」の完成は1790年。アは1703年、イは1721年、ウは1862年。

[4] (政治—政治のしくみと働き・国民生活・時事問題など)

問1 伊達政宗がメキシコとの交易を目指して派遣。ローマ法王との謁見には成功したが貿易の実現には至らなかった。

問2 マグニチュード7.0で震源の浅い直下型地震。中南米の貧しい国であるハイチは社会的基盤が不十分なことも重なりその被害は空前の規模となってしまった。

問3 (1) 13日後には全線での一般車両の通行が可能となるなど驚異的なスピードで復旧。復興支援の大動脈として活躍。(2) 沖合の島々が天然の防潮堤となったほか、浅い水深により津波のスピードが落ち急速にエネルギーが減衰する効果もあった。

問4 (1) 全国の気象や地震、火山噴火などの観測をする国土交通省の外局。(2) 数十年に1度の大雨、暴風、大雪などの恐れの時に発令。住民は直ちに命を守る行動をとることが要求される。

問5 (1) マグニチュード7.9の大地震。死者・行方不明者10万人以上の被害で首都機能は壊滅。

(2) 火山噴火や原発事故など長期にわたる災害への対応が不十分といった声も多い。

やや難

問6 2013年11月、最高裁判所は違憲状態としながら選挙そのものは有効と判断。ねじれ国会の解消とネット選挙の解禁はともに2013年の参議院選挙。衆議院の定数削減は2013年の公職選挙法改正で決まったが実際に行われたのは2014年の衆議院総選挙からである。

問7 他国からの武力攻撃への反撃が個別的自衛権。自国以外への攻撃に対する反撃が集団的自衛権。集団的自衛権は国連憲章でも認められており日本も当然持っているが、憲法9条からこれを行ってできないというのがこれまでの政府見解。新しい憲法解釈では、①日本と密接な関係のある国が攻撃を受け日本にも明確な危機が及ぶ、②他に手段がない、③必要最低限な武力行使といった3要件が条件とされる。



★ワンポイントアドバイス★

時事問題絡みの出題は今後も増えると思われる。日頃からニュースなどをチェックし、不明な点は必ず解決する習慣をつけておこう。

<国語解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

- 一 問1 a 踊(る) b 吹雪 c 怠(けて) 問2 冬のもたらすもの全て
 問3 エ・キ 問4 凍てつく冬の寒さもなく、年もとらない(という意味。)(18字)
 問5 ア 鏡の中 イ 向うの世界[生者の世界] ウ 何で 問6 (例) 冬の寒さや辛いことも生きていることの証しであるから、どんなこともしっかり味わおう(ということ。)(40字)
- 二 問1 ア 問2 まことらしきウソ 問3 智慧の試合 問4 ウ
 問5 (例) 咄の者として大名を笑わせるために、ウソと看破しうる程度にまことしやかにウソを語る(という役目。)(40字) 問6 ア・カ 問7 イ

<国語解説>

一 (小説一主題・心情・場面・文章の細部の読み取り、空欄補充、漢字の書き取り、記述力)

基本

問1 aの十四画目の最後のたて線はつきぬけることに注意。bは熟字訓なので読み方も覚える。cの訓読みはほかに「おこた(る)」。

問2 冒頭の段落で、冬を憎むヴィルケに会う人は、ヴィルケから冬の寒さを呪い「冬のもたらすもの全て」を罵倒する(激しくののしり悪口を言うこと)言葉を聞かされる羽目になることが描かれている。

問3 猟犬のエゾウは、本文中ほど「昼の狩り」で始まる段落から登場する。本文後半、死者の国にいるヴィルケの母が〈あの世〉にまぎれこんでしまったヴィルケに、エゾウが死者の国(=あの世)から生者の世界に運んでくれると話している。また同じ場面で、エゾウが生者の国と死者の国を行き来できるのは、報酬のためではなく素直に喜びに生きているからであることも、話している。

重要

問4 3より前の母との会話で、ここは凍てつく寒さもなく、こんなに居心地のいい場所は初めてで、時間というものがないと誰も年をとらない〈あの世〉は素晴らしい、とヴィルケは話している。

重要 問5 「ただ一つ方法が」で始まる母の言葉を整理する。まず、「鏡の中」の自分の方が本当の自分だと思えば、鏡の中に入ることができる→鏡をエゾウが生者の世界に運んでくれる→さらに向うに着いたら、同じように＝「向うの世界(＝生者の世界)」の自分の方が本当の自分だと思える→鏡の外に出られる、という方法でヴィルケは帰ってきている。「鏡の中」の自分や「向うの世界」の自分が本当の自分だと思えることでヴィルケは帰ってきており、このことを母は「何でも信じていることが存在をつくりだす」と話している。

やや難 問6 最後の場面で、〈あの世〉から生きて帰って来られたヴィルケは、祝宴の支度でたかれた火の色に生きていることを実感したため、その火の色ほど暖かで美しいものを見たことがない、と思っているのである。母との会話で、生きるってことはみんないいことで、病気や苦しみを生きていることの証しであり、生きていることがどんなにいいことか、向うの世界に戻って心の底から味わわなくてはいけない、と母から言われたヴィルケは、冬の寒さや辛いことも生きていることの証しであるから、どんなこともしっかり味わうことを、〈あの世〉に行ってもどってきた経験から学んだのである。

二 (論説文一要旨・大意・細部の読み取り、空欄補充、記述力)

基本 問1 1は敵獣と闘う必要のない子犬までが遊戯としている子供たちの咬み合いの稽古のことで、「こんな真剣でもない勝負」は、少し後で、今では無用の悪癖のように見られているが、昔は攻撃だけでなく自衛の法としてもぜひ必要な「修業」であったことが述べられている。

重要 問2 「ウソがこうして」で始まる段落の、〈以前は村々に評判のウソツキという老人がいて、死んだ後まで永く土地の住民を大笑いさせている者もいる〉という場合のウソは2のようなウソで、これに対して、〈まことらしきウソ〉をつくる者のウソは、そのウソがわかれば馬鹿にされ、真に受けさせれば人が怒って、人望を博する(＝尊敬や信頼を得る)ことはできなかったとあることから、この場合のウソが「実害」のあるウソである。

問3 3直後で、3のようなことがあった場合、すもうや弓の試合のように「知恵の試合」をさせて見物して笑っていたことが述べられている。

問4 は、必ず話になっている人望のあるウソのことで、直後で、聴衆も安心してそのウソの技術を鑑賞することができたことによって、文学が今日のように愉快に発達できたことが述べられている。のようなウソが「文芸(＝言葉によって表現される小説や詩歌などの文学)化」して、文学が発達することができた、ということである。

やや難 問5 4は直後にもあるように、大名たちが咄の者と名づけて抱えていたウソツキの名人のことである。さらに少し後で4の職務の具体的内容として、話を聴く人がウソと看破しうる程度にまことしやかに(いかにも本当らしく見せるさま)ウソを語らなければならなかったことが説明されている。これらを4の役目として簡潔にまとめる。

やや難 問6 5のある段落後半で、太閤が酒を禁じていたのに、曾呂利が真っ赤な顔をして御前に出て来たため酒を飲んで来たかきくと、寒いのでたき火に当たって参りましたと答えたものの樽柿の酒くさいので、酒を飲んで来たにちがいないと言うと、柿の木をたいてたき火に当たりましたから、と曾呂利はウソをついた話が述べられている。禁酒が命じられていたのに酒を飲んで真っ赤な顔をして御前に出て来た曾呂利が、最後まで飲んでいないとしらを切り続けているのがおもしろく、また機知に富んだウソをついたことを太閤はわかっていたため、笑ったのである。

重要 問7 「ふさわしくないもの」を選ぶことに注意。アは最初の段落の「しかしそんな」で始まる一文、ウは「ウソがこうして」で始まる段落の「おやと思って」で始まる一文、エは「童話の中には」から始まる二文でそれぞれ述べられている。イは、最後の段落で太閤が酒を飲んで来た曾呂利のウソを笑ったが、酒を禁じるという戒めを解いたわけではないのでふさわしくない。



★ワンポイントアドバイス★

意味がはっきりとわからない言葉が出てきても、前後の文脈のつながりから言葉の意味を推測するようにして、本文の読みが滞らないようにしましょう。